

# 第1学年B組 生活科学習指導案

授業者 嶋崎 裕子  
研究協力者 中野 良樹  
教材分析協力者 長瀬 達也

1 単元名 みんななかよし～附属小学校のすてきを見つけたよ！～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

入学から2か月が経ち、学級や学年での学校生活に慣れ、毎日わくわくしながら新たな発見をしながら生活をしてきている。生活科の学習でも、表現すること（話す・体を動かす・歌う・書く・描くなど）を好み意欲的に活動している。だが、学校の中で子どもたちが自由に行ける場所は、制限されており、早くいろいろな場所を探検したり学校生活を支えている人々にかかわったりしたい気持ちにあふれている。しかし、学校生活を支えている人々との交流やどんな仕事をしているのかなどについての興味・関心は個人差が大きい。

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領（1）「学校と生活」を受けて設定した。学校探検をしたり、探検で分かったことを友達と話したり聞いたりする活動を通して、学校には様々な施設があることや、その施設で働いている人がいることを知り、自分たちの教室と比べることで特徴や違いに気付く。また、様々な施設で進んで話しかけたり分からないことを聞いたりすることで、人とかかわることの楽しさを実感することができるようになることをねらう。**学校生活を支えている人々や友達と自分のかかわりについて考えることができるという資質・能力を高めることで、安心して生活することができるとともに、相手意識をもって適切に人と接することのできる子どもの姿を期待して単元を設定した。**

(3) 指導について

単元の導入では、スタートカリキュラム段階での学校巡りをきっかけにして、学校の中の様々な人や教室とかかわりを深めたいという思いをもてるようにし、1年生だけの学校探検につなげていけるような授業を組み立てる。本単元で育む資質・能力を高めるために**探検で気付いた疑問・もっとしりたいことに着目し、行きたい場所・会いたい人・してみたいことなどについて選んだり決めたりする「見方・考え方」**を生かした学習活動を設定する。「計画→探検→気付きの交流→ふり返り→次の探検の計画」を一つのサイクルとして繰り返し展開することで、気付きが深まり、身近な人とかかわることの楽しさを味わいながら進んで活動することができる。全員で行く1B探検や4人のグループで行く教室棟・特別教室棟探検を行い、自分の教室と比べることで、それぞれの場所の特徴に気付く。それを絵やタブレット型端末で撮影した写真などを使って地図にまとめていくことで、似ているところや違いにも気付くと考える。本時では、探検で得た自分たちだけのすてきについて紹介し合う場を設ける。それぞれが行った場所の特徴をすてきカードで見合ったり、友達の発表を聞いたりしながら伝える時間とする。3回目の交流探検では、行ってみたい教室や施設・そこにいる人との交流を通してもっとしてみたい自分の願いをもつことができるようにし、4回目のしたいこと探検(願いを叶える)につなげたい。

単元のまとめでは、単元をふり返る時間を設けることで、探検博士になった自分の成長や変容を自覚することができるようになる。この探検の活動が2月の幼稚園児との交流や2年生での町探検へとつながっていく。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 学校には様々な施設があることや、自分たちの生活を支えてくれる人々がいることに気づき、周囲の人々との交流を通して互いのことを理解し合い、心を通わせながらかかわることの楽しさを実感することができる。 (イ-1)
- (2) 学校探検をする中で、自分が見たり聞いたりしたことや感じたことを自分なりに表現したり、友達と交流したりすることができる。 (カ-1・2, ナ-3・4)
- (3) 学校生活を支えてくれる人々や友達と自分のかかわりについて考え、楽しく安心して安全な生活をしようとする。 (ウ-2)

4 単元の構想（総時数 13 時間）※「見方・考え方」を生かした学習活動

2 年生主催の「なかよし集会」での校内巡りの活動（スタートカリキュラム）

○ 本単元で育む主な資質・能力  
 学校生活を支えている人々や友達と自分のかわりについて考えることができる。（イー1）

時間	学習活動	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
1 2	(1) 「なかよし集会」での学校探検の様子を紹介し合う。	・ 2 年生との学校探検で使用した探検スタンプカードを活用することで、場所の様子やそこにいる人についてふり返ることができるようにする。	・ 学校にいる人や施設に関心を持ち、進んでかかわろうとしている。 (ア-2)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         学習課題 附属小学校のすてきを見つけよう。                     </div>			
3 4	(2) 1 日探検の計画を立て、探検に出かける。	・ 教師が説明をしながら校内巡りをするので、グループ探検で行きたいところを見付けることができるようにする。	・ 学校のきまりやルールを守って、安心して探検をしている。 (サ-3・4)
5 6	(3) グループ探検の計画を立て探検に出かける。	・ 関心をもちながら学校探検ができるように、回るコースを設定したり、もう一度見たい場所・会いたい人などの見る視点を提示したりする。	・ グループで決めた探検のきまりを守って探検をしている。 (サ-3・4)
7 本時	(4) グループ探検で見付けたことや行って見た場所の特徴について話し合う。	・ グループ探検での人やものの写真を提示することで、場所の特徴を視覚的に捉えられるようにする。 ・ 普段過ごしている教室と特別教室の違いに着目できるように、グループの情報を伝え合い交流する場を設定する。人・ものなど比べる視点を提示することで、自分が探検した場所と比較できるようにする。	・ 探検した場所の特徴について伝え合うことで、学校を支えている人の存在に気づき、自分とのかかわりについて考えている。(イ-1)
8 9	(5) 交流探検の計画を立て、探検に出かける。	・ グループ探検でインタビューしたり、ものに触ったりしたことを紹介し合う活動を通して、次のしたいこと探検で実際にしてみたいことを考えることができるようにする。	・ 探検を通して見付けたことを、言葉や絵・写真で自分なりに表している。 (カ-1・2)
10 11	(6) したいこと探検の計画を立て、探検に出かける。	・ 自分がしてみたいことを実現する学校探検ができるように、明確な目的を持ち、相手の許可を得てから探検に行くことの大切さを確認する。	・ それぞれの場所のきまりを守って安心して探検をしている。 (サ-3・4)
12 13	(7) 探検のまとめをし、お世話になった人にお礼の気持ちを伝える方法を考え、伝える。	・ 探検のふり返りをするので、今までの活動を通した自分と相手のかかわりを実感し、感謝の気持ちが高まるように、かかわった人にお礼を伝える活動を取り入れる。	・ 学校生活や人との交流の楽しさを実感し、自他のよさに気付いている。(イ-1)

・ 本単元の学習活動で生かす主な「見方・考え方」  
 探検で気付いた疑問・もつと知りたいことに着目し、行きたい場所・会いたい人・してみたいことなどについて選んだり決めたりする。

「とびだせたんけんたい」（2 年）

5 本時の実際 本時 (7 / 13)

(1) ねらい

グループ探検でのその場所にしかない人・ものについて友達と伝え合うことを通して、場所の特徴やその場所で学校を支えている人の存在に気づき、自分とのかかわりについて考えることができる。 〈I-1〉

(2) 展開

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
3分	<p>① 本時の学習のめあてを確認し、活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年B組や3年生の教室に行ってきたよ。</li> <li>・ 図工室にも行ってきたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までの学習を生かし見通しをもって本時に臨むことができるように、本時の学習の流れを確かめる。</li> <li>・ 教室と特別教室の様子を想起することができるように、写真を掲示する。</li> </ul>
<p>学習課題</p> <p>1Bの教室にはない、人・ものを紹介し、したいこと探検の場所を決めよう。</p>		
5分	<p>② グループ探検報告の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室には、学校のお医者さんの保健室の先生がいるよ。薬の付け方を教えてもらったよ。</li> <li>・ 理科室で清水先生と一緒に、骸骨を出したよ。清水先生は実験博士だということを見付けたよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの場所の特徴を確かめることができるように、他のグループに報告する内容を確認する時間を設ける。</li> </ul>
32分	<p>③ グループごとに、場所の特徴を伝え合い、それぞれの場所で1Bの教室と似ているところや違うところを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長室は校長先生が一人で仕事をしていて、立派なソファがあったよ。</li> <li>・ 6年生の教室には、机が僕たちの教室と同じくらいあったよ。6年生の体の大きさに合った大きい机だったよ。</li> <li>・ 1年生の教室や2年生の教室は同じものがたくさんあったよ。でも、理科室や図工室の机は大きな机だったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人」「もの」という視点を与えることで自分と友達の気づきを比較しながら、1Bの教室と似ているところや違うところに着目して、聞くことができるようにする。</li> <li>・ 似ているところや違うところを比べる活動を通して、その気づきを言葉でまとめる場を設け、それぞれの場所にはその場所にしかない特徴があることを見いだすことができるようにする。</li> <li>・ 学校生活を支えている人や他学年の子どもとかかわったこと、自分が気付いたことを話している子どもを称揚し、学級全体に広めるようにする。</li> </ul>
<p>その場所にしかない人・ものに着目し、それぞれの探検報告をしたり聞いたりすることで、探検場所の特徴とその場所にいる人の存在に気づき、自分とのかかわりについて考えることができる。 <span style="float: right;">〈I-1〉 (学習シート, 発言)</span></p>		
5分	<p>④ 本時の学習をふり返り、次時の学習への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな場所で仕事をしている人がいて、教室には同じようなものがたくさんあることに気付いたよ。</li> <li>・ 6年生の教室の大きな机で給食を食べてみたい。</li> <li>・ 熱帯魚の世話をしている委員会のお兄さんやお姉さんと一緒に、えさやりをしてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員が次の探検への思いを明確にもつことができるように、必要に応じてペアやグループで相談する時間を設ける。</li> <li>・ 自分がしたいことを具体的にまとめたり、なぜそうしたいのか理由を書いたりすることができるように、学習シートの構成を工夫する。</li> <li>・ 本時の活動の頑張りについて称揚するとともに「したいこと探検」の実現に向けて、具体的に計画を立てている子どもに発表を促し、個々の意欲を高めるようにする。</li> </ul>